ボリビア内政・外交(２０１６年９月)

1. 概況
   1. 内政
      1. １日，鉱業分野等に関する複数の最高政令が承認された。
      2. 国際識字デーの８日，アギラル教育大臣はボリビアの非識字率が２．８％に改善したと述べた。
   2. 外交
      1. ２１日，モラレス大統領は国連総会で一般討論演説を行った。
      2. ２３日，モラレス大統領はジュネーブで第３３回人権理事会会合に出席し，チリがボリビアの自由通行を保障しておらず，ボリビアの運送業者の人権を侵害していると非難した。
2. 内政
   1. 政府の動き  
      １日，ナバロ鉱業・冶金大臣，ロメロ内務大臣，トゥリゴソ労働・雇用・社会保障大臣は複数の最高政令の承認を発表した。最高政令第２８８８号は，デモでの爆発物の利用を禁止する。同第２８８９号は全ての鉱山協同組合の管理及び査察を行う政府機関の設置を定める。同第２８９１号は鉱山協同組合と民間企業の合弁企業設立に関する権限を中央政府に与えることを定める。同第２８９２号は，協同組合において賃金労働者が労働組合を結成する権利を認める。
   2. 国際識字デーの８日，アギラル教育大臣はボリビアの非識字率が２．８％に改善したと述べた。２００６年には１３．３％であったが，キューバ及びベネズエラの協力で年々改善している。
   3. ９日付け報道によると，ロセンド・アルピリ元駐パラグアイ大使がチリに亡命した。同元大使は先住民基金汚職問題に関与した疑いがある。
   4. ２１日，LGBT団体が，テサーノス人権擁護官に同性カップルの婚姻を合法化する法律の基本構想を提出。同基本構想には，養子縁組は含まれていない。本基本構想は昨年も議会に提出されたが，審議は無期限に延期されていた。
   5. 世論調査  
      　３～７日，MERCADOS Y MUESTRAS社が４１の県庁所在地及び中都市で行った世論調査によると，５９％が，モラレス大統領はMAS党党首を続けるべきだが，閣僚交代を行うべきと回答。３９％がキンタナ大統領府大臣が辞任するべき，２５％がロメロ内務大臣が辞任するべき，２０％がガルシア・リネラ副大統領が辞任するべきと回答。  
      　現在の経済情勢に関し，６７％が経済危機にあると考え，２８％がそうは思わないと回答。自身の家庭の経済状況に関し，５３％が良いとも悪いとも思わない，２９％が良い，１５％が悪い，１％が非常に良い，１％が非常に悪いと回答。  
      　モラレス大統領に関し，３２％がある程度信用している，５４％があまり信用していない，１８％が全く信用していないと回答。同大統領の取組に関し，５％が非常に良い，３３％が良い，４０％が普通，１６％が悪い，５％が非常に悪い，２％が未回答。
3. 外交
   1. 多国間関係
      1. １５～１６日，モラレス大統領はチョケワンカ外務大臣と共にベネズエラで開催された第１７回非同盟諸国（NAM）サミットに出席。
      2. ２１日，モラレス大統領はニューヨークで行われた国連総会で一般討論演説を行った。２１日，モラレス大統領はガルシア・アンデス開発公社（CAF）総裁と会合し，農業分野に７千万ドルの融資が行われることが決定された。２２日，モラレス大統領はモレーノ米州開発銀行（IDB）総裁と会合し，同総裁は気候変動により悪影響を受けている農業分野への融資を検討することを約束した。同日，モラレス大統領はパリ協定を批准した。その他，モラレス大統領はニューヨーク滞在中，潘基文国連事務総長と会合した。
      3. ２３日，モラレス大統領はジュネーブで第３３回人権理事会会合に出席し，チリがボリビアの自由通行を保障しておらず，ボリビアの運送業者の人権を侵害していると非難する旨の演説を行った。
   2. 二国間関係
      1. ７日，エルサルバドルの大使館が開設され，観光客の査証免除が合意された他，政治，経済，社会分野の協力に関するロードマップが検討された。
      2. １３日，「海への出口」問題に関し，国際司法裁判所（ICJ）でボリビアとチリの代理人が会合。２２日， ICJはボリビアの抗弁書の提出期限を２０１７年３月２１日，チリの再抗弁書の提出期限を２０１７年９月２１日と決定した。
      3. １４日，ボリビア外務省は９日に行われた北朝鮮による核実験を強く非難する旨のプレスリリースを発出した。
      4. １５日，モラレス大統領及びコスタス・サンタクルス県知事出席の下，電力公社（ENDE）と中国のロシータス臨時企業はロシータス水力発電所建設（発電量５００－６００MW，金額１０億米ドル）の契約を締結した。
      5. ２０日，フランスから友好議員連盟会長を筆頭とする議員団が来訪し，ガルシア・リネラ副大統領と会談した。
      6. ２３日，モラレス大統領はジュネーブでボンバ独運輸副大臣と会合し，独の南米大陸横断鉄道建設に関する関心が示された。
      7. ２６日，ボリビア外務省はコロンビア政府とFARCの和平合意署名に祝意を表しつつも，右式典にモラレス大統領が招待されなかった旨のプレスリリースを発出した。
      8. ２７日，チョケワンカ外務大臣と古賀大使は円借款「ラグナ・コロラダ地熱発電所建設計画（第二段階）」に係るE/Nに署名し，ENDEは同プロジェクトを実施するために６億１，３００万ドルの融資を獲得した。
      9. ２７～２８日，第３回ボリビア・アルゼンチン技術協力合同会議がラパスで開催され，アルラルデ外務次官等が出席。２０１４～２０１６年の第２回協力プログラムの評価と２０１６～２０１８年の第３回協力プログラムに含まれる新たな１５プロジェクトの確認が行われた。

(了)